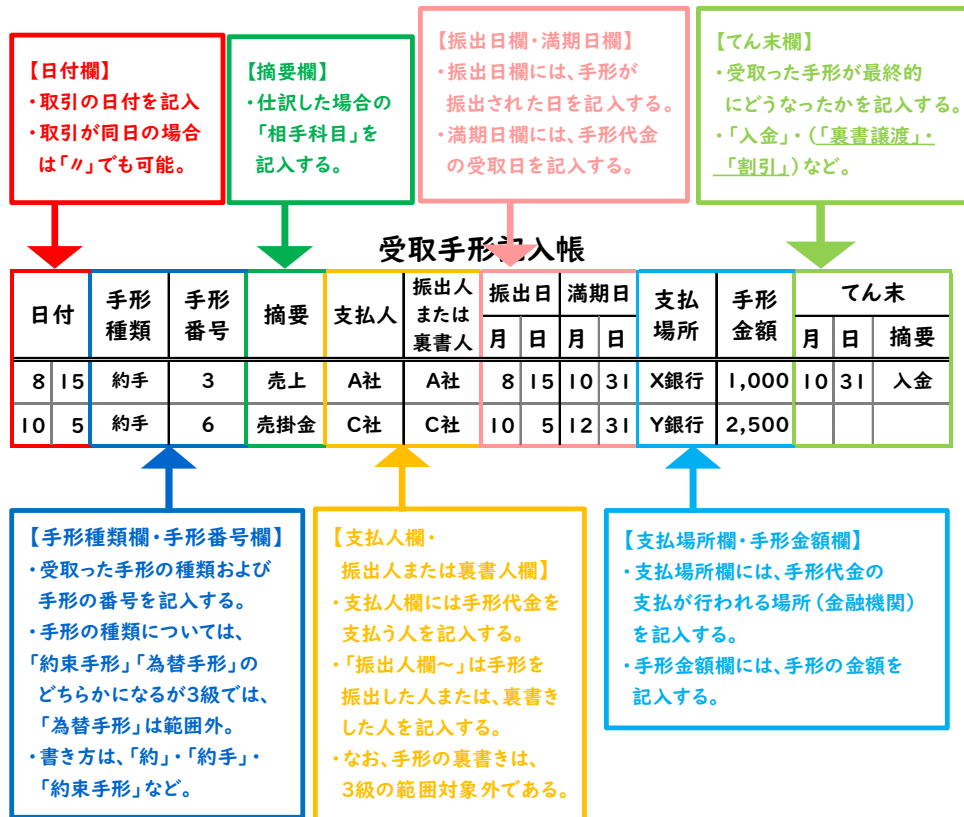


受取手形記入帳

・受取手形記入帳は、会社が必要に応じて作成する（ ）であり、受取手形勘定における取引の詳細を記入する（ ）である。

・なお、手形の受取り後は「てん末欄」で最終的な流れを記載するため、他の帳簿のように「次月繰越」といった締切りはしない。

・《受取手形記入帳の各項目について》



練習問題 I

・10月の取引について受取手形記入帳を完成させなさい。なお、10月以前の一部の取引については記入済みである。

- 10月1日 B社に商品5,000円を売上げ、代金は同社振出しの約束手形#5を受取った。
(満期日:12月31日、支払銀行:Y銀行)
- 10月10日 得意先C社から掛代金10,000円の回収として、同社振出しの約束手形#8を受取った。
(満期日:12月31日、支払銀行:Z銀行)
- 10月31日 8/20にA社へ商品3,000円を売上げた際、同社振出しの約束手形#2を受取っていたが、満期日となり、手形代金が当座預金口座に入金された。
(支払銀行:X銀行)

受取手形記入帳

日付	手形種類	手形番号	摘要	支払人	振出人または裏書人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
						月	日	月	日			月	日	摘要
8 20	約手	2	売上	A社	A社	8	20	10	31	X銀行				

練習問題 2

下記の受取手形記入帳に基づいて、各日付における仕訳を行いなさい。

受取手形記入帳

日付	手形種類	手形番号	摘要	支払人	振出人 または 裏書人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
						月	日	月	日			月	日	摘要
8	3	約手	22	売上	A社	8	3	10	31	X銀行	1,000	10	31	当座入金
10	25	約手	33	売掛金	B社	10	25	12	31	Y銀行	2,000			

●仕訳●

8月3日：() ()

10月25日：() ()

10月31日：() ()